

授業科目名	災害看護学		担当教員	◎川上 裕子、堀 希好、小澤 ちのぶ、浅野 幸子、金城 一也	科目ナンバリング NM391
必修	開講年次：3年前期	単位：1単位	授業形態：演習30時間		

【授業概要】

災害は、突然発生し、人々の生活や健康を大きく脅かすため、何らかの保健医療福祉のサポートが必要になる。災害の種類と被災の規模、保健医療福祉のニーズ、国や地域の支援体制、看護職が果たす役割について教授する。看護職の役割は、災害への備えや発生時の対応に関する市民教育、災害発生直後の被災者への対応、被災者への心理・社会的支援など多方面にわたる。大学周辺の災害(地震・津波、大洪水、船舶事故、大火災・爆発)の備えについて情報収集・分析し、もし災害が発生した場合の学生自身の行動について考察し、行動計画作成する。また必要な看護支援について論議する。

【達成目標】

1. 災害の原因となるハザードについて理解する。
2. 災害の種類と被災者の状況を理解し、被災者のニーズについて考察する。
3. 国や地域による防災対策、災害ネットワークについて理解する。
4. 自分自身の災害への備えについて考え、行動に移す。

【履修条件】

特になし

【授業計画】

- [01] 授業オリエンテーション、災害発生の現状と今日的課題、災害看護の歴史的発展、災害に関する法律・制度 (川上)
- [02] 大規模災害における避難行動・避難生活の現実(遠隔で実施) (浅野)
- [03] 被災者の多様性と要配慮者への支援 (浅野)
- [04] 災害とジェンダー (浅野)
- [05] 災害における連携 (川上)
- [06] 災害サイクル各期における看護活動：超急性期、急性期、亜急性期、慢性期、静穏期 (堀)
- [07] 避難所・仮設住宅・被災地における看護活動 (小澤)
- [08] 災害時の対応、災害医療の活動原則(CSCATTT)とは (金城)
- [09] 災害時に必要な技術①演習：トリアージの原則と方法 (金城・川上・堀)
- [10] 災害時に必要な技術②演習：応急処置・搬送法 (金城・川上・堀)
- [11] 災害時の地域看護活動①防災対策と地域社会の協働・連携、防災地区踏査計画の立案 (川上)
- [12] 災害時の地域看護活動②演習：防災地区踏査の実際 (川上・堀)
- [13] 災害時の地域看護活動③演習：防災地区踏査の実際 (川上・堀)
- [14] 災害時の地域看護活動④演習：防災地区踏査報告書の作成 (川上・堀)
- [15] 災害時の地域看護活動⑤演習：防災地区踏査の発表
災害に備えた地域づくり、災害看護学まとめ (川上・堀)

【教科書】

酒井明子・菊池志津子(2018)：災害看護(改訂第3版)，南江堂。

【参考書】

小原真理子(2019)：災害看護：心得ておきたい基本的な知識(改訂3版)，南山堂。

浦田喜久子(2020)：災害看護学・国際看護学(第4版)，医学書院。

【評価方法・評価基準】

定期試験：70%、課題レポート：30%

【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：教科書の該当箇所を事前に学習しておく。日頃から新聞やマスメディアを活用して災害に関連する様々な情報に関心をもつ。

事後学習：各回の授業内容を教科書や配布資料等で復習し、他の科目の内容と関連付けて理解を深めておく。

【教育目標(必須要素)との関連】

この科目はⅢ. 根拠に基づいた看護実践能力、Ⅵ. ヘルスプロモーションと予防の実践能力、Ⅶ. 国際的視野の育成と地域貢献能力に関連している。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

課題レポートは評価しフィードバックする。

【備考】

災害看護学は看護の全領域をカバーする広範囲な領域である。2年の後期、3年の前期から始まる看護各領域と関連が深く、救命救急やトラウマティックシンドローム、各領域の災害看護と並行して学習する。

災害現場で活躍した経験のある看護職や防災対策・体制に関する普及団体で活動する講師により講義・演習を展開する。